

今日もいきいき・あったか♪ 中田デイサービス通信

すっかり初夏の陽気になって参りました。

診療所便りをお手に取ってくださりありがとうございます。

体調はお変わりありませんか？

中田診療所デイサービスでは最近設備のアップデートがありました。大画面で動画が見られるようになったのです。歌が好きなご利用者様が多い中田デイ。お昼休憩には青春時代の歌を流し「懐かしいね！！」と皆様口ずさんでおります。石原裕次郎や美空ひばり、あの頃の歌！！とリクエストがあれば映像を流し歌を聴きながら色々なことを思い出し、そこから会話に花が咲きます。歌うことでストレス発散もできますね。先日はカラオケ大会を開催、大変盛り上がったそうです

歌の話ばかりしてしまいましたが歌ってばかりではありません。午前中は入浴、下肢の運動(個人訓練)全体体操、脳トレ、口腔体操、体操も盛り沢山。合間合間でご利用者様同士でおしゃべりしたり囲碁をしたり新聞や読書、塗り絵(意外にハマります！絵画のように塗る方もいらっしゃいます)

そして昼食。お弁当の業者さんも新しくなりました。苦手なもの、食べられないものは調整してお出しします。食後は皆さんでトランプをしたりTVを見たり、横になったり各々ゆっくり過ごしていただきます。午後は1時間ほど体操をしてそのあとレクリエーション(遊び)の時間です。楽しんだ後はお茶の時間。手作りスイーツが食べられる日もあります。歌を歌いおしゃべりをし、体を動かし、おやつを食べて1日終了です。お家時間も大切ですが外で人と接する時間も同じくらい大切です。少しでも興味を持たれた方見学にいらしてください。

M.N

■■ 中田診療所からのお知らせ ■■

○2024年中田地域健康まつりにご参加ありがとうございました

6月29日無事行うことができました。

皆様のご支援・ご参加ありがとうございました。今後とも宜しくお願いします。

医療生協かながわ生活協同組合中田地域健康まつり実行委員会一同



医療生協かながわ生活協同組合
中田診療所だより

2024年7月1日発行

発行 医療生協かながわ生活協同組合中田診療所

2024年

〒245-0013 横浜市泉区中田東3丁目3番27号

電話 045-802-2840 FAX045-803-0716

7月号

『ネガティブ・ケイパビリティ negative capability

答えのない事態に耐える力』

帚木蓬生(ハハキギ・ハウセイ)著から

森 啓

私がこの言葉を初めて知ったのは去年1月のNHK ラジオ深夜便の放送からである。今年5月にも再放送があった。去年9月NHKテレビのPM7:30台でも紹介された。この言葉は不確実なものや、未解決なものを寛容すること、常にもやもや感を持って生きていくことが必要であるということです。私なりの捉え方は不安、悩みを持ち続けながらこれを受け止めて生きていく忍耐という能力が必要ということだろう。ネガティブ・ケイパビリティについて先生の著書が2017年4月に第1版が発行されており、現在7万部を突破されたそうだ。

<帚木蓬生(ハハキギ・ハウセイ)先生のプロフィール>

1947年生まれで東京大学文学部卒業、TBSに入社。報道部で配属されひとつの仕事が終わると次ぎの事を片づけて行く事に物足りなさ感じ、九州大学医学部入学。精神科医となり、その時精神科医局で購入していた米国精神医学雑誌でこの用語を知った。先生は60歳時急性骨髄性白血病に罹患し医師から生存率50%と言われ、半年間の闘病生活で自分の末梢血幹細胞移植も受け白血病を克服した。白血病の治療は骨髄を空にしないといけない。抗がん剤治療で一番強い医療であり、強い精神力を持たないと耐えられない治療である。テレビで見たお姿は紳士的で優しく、包容力をお持ちの先生であった。ラジオ放送でももちろん原稿などないだろうが、インタビューの問いに淀みもなく次々と答える先生の「ハウセイ語録」は素晴らしい。私から言えば先生は逆に人生を解決して生きているのでなかろうか。先生は110個以上の著書があり柴田錬三郎賞や日本医療小説大賞など数々の賞を受けている。長年、福岡でメンタルクリニックを開業し診療に当たっている。

先生が本に述べているものを紹介します。ネガティブ・ケイパビリティの語源はシェイクスピアに宿している。最初に提唱したのは詩人のジョンキーツであり、その用語は日々理由をせつかに求めず、不確実や不思議さ、懐疑の中にいられる能力である。能力といえば何かを処理し問題を解決する能力でなく、逆に解決しない能力を推奨した。この言葉はその半世紀に世にでることがなかった。その重要性を問いたのは精神科医のウィルフレッド・R・ビヨンであった。ビヨンは精神科医であったので、医療センターで患者のやりとりからありきたり言葉ではいけない事を悟り、人と人の出会いで悩み悩みを軽減していくにはこの言葉は必須であると考えた。

先生はメンタルクリニックでうつ病で不眠の人、収入の安定しない不安な人、がんを煩っている人、夫の死亡後生き甲斐をなくし不安を抱えた人など色々な人達に接している。先生の診療は 明るい未来がある、こうすべきという結論は言わない。先生の診療は目薬と日薬である。目薬とはやさしく目を離さず見守ること。日薬とは時間が必要なことを意味している。治す治療でなくトリートメントである。診療所には 16 歳の犬がいて、その犬は悩んでいる患者さんが来ると人間の心が分かるのかただ横にいて寄り添い静かにしているそうだ。

欲がなく黙々と描き続けた画家の山下靖がいるが、周囲の暖かい共感とネガティブ・ケイパビリティが彼を育てたのだらうと言う。またギリシャ、ロシア、中東の政治に対して独自の政策を打ち出した人道主義者のドイツのメルケル前首相もネガティブ・ケイパビリティの心を持つ方であろうと言う。相反する人物としてアメリカ合衆国のトランプ前大統領が挙げている。教育現場ではまさにポジティブ・ケイパビリティである。幼稚園から大学に至るまで問題の設定とそれに対する解答解答の連続で、早く早くと母親が口にしない日はないと言っている。

このネガティブ・ケイパビリティはビジネスにも役に立つ言葉である。NHKテレビ番組では問題を提起し、2つのグループに分けた。規定時間内の討論で結論を付ける群と討論をし合うだけで結論を出さない群である。時を経つと後者の方が実際はよい方向となっていった。

世の中にはポジティブに、前向きに、明るく、向上心を持ってなどの言葉が多く氾濫しています。人間にはプラス思考とマイナス思考の人がいます。現代はプラス思考の人がよいということになるでしょう。でもマイナス思考でも生きて行く事、これに耐えていく人生もあってよく、いつかはプラス思考に心が変化するかもしれません。答えをすぐ出さずマイナス思考を持ち続けていく事も大切と考えました。



診療体制表 2024年7月						
	月	火	水	木	金	土
9:00 5 12:00	森 一般内科/血液	森 一般内科/血液	森 一般内科/血液	森 一般内科/血液	石橋 一般内科/呼吸器	第1・3・5週 河合 一般内科/呼吸器
			石橋 予約/呼吸器	富田 一般内科/循環器	近藤 予約/糖尿外来	第2・4・5週 森 一般内科/血液
13:30 5 16:30	森 一般内科/血液	富田 一般内科/循環器	休診	森 一般内科/血液	河合 一般内科/呼吸器	休診
			第1・3週 往診	整形外科 山崎		